

## エチオピア経済月報(2021年8月)

### 主な出来事

- エチオピア国立銀行(NBE)は、不動産等を担保とする新規融資を停止。
- 7月のインフレ率は26.4%(前月比1.9%ポイント増)。
- エチオピアの2020/21年度の外国直接投資(FDI)は39億米ドル。
- 2020/21年度のディアスポラによる送金は36億米ドル。
- エチオピア電力公社は今後10年間に実施する71の電力プロジェクトを公表。
- アディスアベバ市運輸局は、世銀の支援を受け交通マスタープランを改定中。

### 1. 経済全般・財政・金融

- エチオピア・ディアスポラ庁は、2020/21年度のディアスポラによる送金は36億米ドルであったと発表した。(6日、The Ethiopian Herald)
- アディスアベバ市歳入局は、2021/22年度初月の歳入は58億ブルであったと発表した。(12日、The Daily Monitor)
- 中国輸出入銀行は、債務状況を踏まえ、8つのインフラプロジェクトの遅延につながる3.39億米ドルの融資の支払いを保留した。(14日、Fortune)
- 建設工事規制当局(CWRA)は、2020/21年度に60の政府プロジェクト全体で計7億ブルの不要な支出が生じたと明らかにした。うち2.5億ブルは案件の遅延による。(14日、The Reporter)
- 11日、エチオピア国立銀行(NBE)は、不動産等の資産を担保とした新規融資を停止するよう商業銀行に命じた。(16日、Capital)
- 国家統計局(CSA)は、7月のインフレ率は26.4%(前月比1.9%ポイント増)であったと発表した。(25日、Addis Zeybe)
- エチオピアは国際通貨基金(IMF)より、特別引出権(SDR)プログラムの下で4億800万米ドルを確保した。(28日、Fortune)
- エチオピア国立銀行は、マネーロンダリング、テロ資金供与等違法な金融行為を防止するための、「顧客を知る」(KYC)及び「顧客のデューデリジェンス」(CDD)という新たな規則を起案した。(30日、Capital)

### 2. 貿易・投資・ビジネス

- エチオピア投資委員会(EIC)は、2020/21年度のエチオピアへの外国直接投資(FDI)は39億米ドルであったと発表した。(2日、Capital)
- エチオピア通信庁(ECA)は、2度目の通信事業者ライセンスの発行に向けた入札を行うと明らかにした。(5日、The Daily Monitor)
- 6日、財務省は、製造業の成長及び輸入代替の促進を目的として改定した8,000品目の関税率を公表した。(7日、The Reporter)
- Debra MIDROCセメント社は、オロミア州にある同社のセメント工場を拡張する。同拡張により同工場の生産能力は2倍となり、国内2番目となる見込み。(7日、Fortune)
- エチオピア・コーヒー・紅茶局は、2021/22年度初月のコーヒー輸出高は1億1,500万米ドル超であったと明らかにした。(9日、The Ethiopian Herald)
- セメントの投入材の価格上昇を踏まえ、セメント販売価格の評価が現在関係者によって行われており、上方修正がなされる見込み。(21日、Fortune)
- エチオピア税関委員会は、エチオピア-ケニア国境のモヤレの小規模ビジネスコミュニティの要求により、国境貿易を円滑に実施するための手順導入を検討していると明らかにした。(23日、Capital)

- 19日、エチオテレコム公社は、2021/22年度は約700億ブルの収益目標を設定しているものの、エチオピア北部の紛争による通信インフラの破壊のため51億ブルの損失の可能性があると明らかにした。(20日、The Ethiopian Herald/21日、The Reporter/23日、Capital)
- エチオピア政府は、急速なインフレに対応するため、40万トン超相当の小麦を輸入している。(25日、The Daily Monitor)
- エチオピアの2021/22年度初月の輸出高は3億2,900万米ドルであった。(25日、The Daily Monitor)
- エチオピア海運・物流サービス公社(ESLSE)は、コロナ禍でのコンテナ価格の上昇による影響を緩和するために、1,900万米ドルかけて2,958個のコンテナを新たに調達予定。(28日、Fortune)

### 3. エネルギー

- エチオピアは 2020/21 年度に近隣諸国のスーダン及びジブチへの電力輸出により、9,050 万米ドルを獲得した。また、エチオピア電力公社(EEP)の国内売り上げは 132 億ブルであった(6日、The Daily Monitor)
- 5日、エチオピア電力公社(EEP)は、スーダン政府はエチオピアからの 1,000 メガワットの電力購入に係る正式な要請書を提出したと明らかにした。(7日、The Reporter)
- エチオピア電力公社(EEP)は、今後 10 年間に総額 400 億米ドルにのぼる計 71(水力 16、風力 24、地熱 17、太陽光 14)の電力プロジェクトを計画していると明らかにした。(25日、The Ethiopian Herald)

### 4. 工業・運輸

- 10日、アディスアベバ市運輸局は、世界銀行(WB)より370万ユーロの資金提供を受け、市内の安全で効果的かつ統合された輸送システムの確立を目的とした交通マスタープランの改定を行うと明らかにした。(14日、The Reporter)
- 30日、エチオピア航空とボーイング社は、エチオピアをアフリカの航空ハブとする戦略的覚書(MoU)に署名した。(30日、The Daily Monitor)

### 5. 農業

- 農業省は、次期農耕期に向けて200万トン分の肥料調達に係る入札準備を完了した。また農業省は効率的なサプライチェーンの構築に取り組んでいる。(9日、Capital)
- 10日、エチオピア農業ビジネス公社は、2020/21年度に6億米ドル以上の農業投入物(181万トン相当の肥料及び農薬)を農業組合に分配したと述べた。(10日、The Daily Monitor)
- 農業省は、食用油の現地生産における原材料不足を解消するために、油脂作物の栽培用地の使用計画に係る準備を完了した。(16日、Capital)

### 6. 各国動向

- 3日、米国は、121万550回分の2度目のJ&J(ジョンソン・エンド・ジョンソン)製新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンを寄付した。(3日、The Daily Monitor)
- 6日、韓国国際協力団(KOICA)は、眼科医療サービス強化のため、ラス・デルタ記念病院に5万ドル相当の医療機器を寄付した。(6日、The Daily Monitor)
- 17日、英国は、COVAXを通じて49万9,200回分のアストラゼネカ製新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンを寄付した。(17日、The Daily Monitor)
- 韓国国際協力団(KOICA)は、科学・高等教育省、TVET 庁、エチオピア工科大学に新型コロナウイルス(COVID-19)対応のために4万米ドル相当の個人防護具(PPE)を寄贈した。(18日、The Ethiopian Herald)

- 19日、財務省とイタリア政府は総額100万ユーロの皮革分野における女性起業家支援に係る協力協定に署名した。(19日、The Daily Monitor)
- 中国国防省は、エチオピア国防省に20万回分のシノバック製新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンを寄付した。(19日、The Daily Monitor)
- 中国政府は、特に教育分野を支援するため、30万回分の新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチンを寄付した。(24日、The Ethiopian Herald)

#### 7. その他

- 14日、保健省は、新型コロナウイルス(COVID-19)による酸素の緊急需要に対応するため新たな酸素生産工場の開所を行った。(15日、The Daily Monitor)
- 17日、国家統計局(CSA)は、IOM及びデンマーク政府との協力による労働・移民調査の結果として、エチオピア国内の17.1%が資源の制限、農地の断片化、雇用の不足等の理由で国内で移住したと発表した。(21日、The Reporter)